みんなの広場

PATIOとは「中庭」という意味。
町民の皆さんが集い、
自由に意見を語り合う広場です。

ひとこと

(o^▽^o)/ 産業祭に行くのはわが家の恒例行事

PN.さくゆき

家族で産業祭に行ってきました。子どもがよろこぶ無料配布もあり、楽しかったです。来年も家族みんなで行きたいです。

㊨クリスマスプレゼントもらえるかな?

PN.ブラックLOVE♡

≧(´▽`)≦ 邑楽町のことが大好きなんです

PN.ほのぼの

邑楽町に住んで15年。家を建て、子どもも生まれ、この町が大好きです。もっと邑楽町の良さを知ってもらうために、何かできることはないかなと考えています。広報おうらや、図書館は町外の人から、とてもうらやましがられます。

㊨サンタさんが忙しくなる季節だね。

PN.リーガル・ハイ

KOHO 広報クイズ

問題の答えをはがきで送ってください。全問正解者の中から、抽選で10人に500円の図書カードをプレゼント。

【今月の問題】

第1問　街角特派員レポートの今月号の内容は？
A. 消防団の若者事情　B. 消防車の解説
C. 事情があって休み（ヒント2～7ページ）

第2問　あすへひとことに掲載されている物語は？
A. サンタの嫁入り　B. 横綱の土俵入り
C. キツネの嫁入り　（ヒント裏表紙）

応募方法　はがきに、答え（例：第1問―A）・住所・行政区・名前・年齢を書いて郵送

あて先　〒370-0692邑楽町役場企画課「広報クイズ」係

締　切　12月13日㈮（当日の消印有効）

※当選者は広報おうら1月号で発表します。

【11月号の当選者】（応募数38通、全問正解38通）

島田立雄（4区）　小林郁夫（7区）
原　博子（12区）　卯月良江（15区）
増尾駿介（22区）　久保田尋美（24区）
黒岩　愛（25区）　木次寅吉（28区）
小林奈保（34区）　中村美夏（34区）

まちかど情報板

○イベント

新春お笑い寄席（立川談四楼独演会）

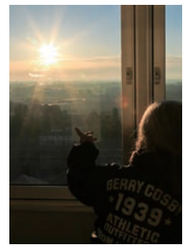
▼**期日**　平成26年1月26日㈰
▼**時間**　午後2時開演
※開場は午後1時30分です。
▼**会場**　福祉センター寿荘
▼**出演**　立川談四楼（邑楽町出身）
▼**入場料**　2,000円（前売券）3,000円（当日券）
▼**チケット販売所**　福祉センター寿荘
▼**問合先**　絆会（きずなかい）・にんまり会事務局 ☎88－4823

タワーオブクリスマス2013

▼**期日**　12月18日㈬
▼**時間**　午後6時30分～8時（一般開放）
▼**会場**　シンボルタワー
▼**内容**　プロジェクター演出、屋外イルミネーション、軽音楽など
▼**入場料**　100円（展望料）
※入場制限をする場合があります。
▼**問合先**　役場産業振興課 ☎47－5026

シンボルタワーが元旦に臨時開館

▼**期日**　平成26年1月1日㈬
▼**時間**　午前6時～正午
▼**入場料**　100円
※就学前の子どもは無料です。



※入場制限を行う場合があります。
▼**問合先**　シンボルタワー ☎88－8686 役場産業振興課 ☎47－5026

緑寿式典開催＆実行委員募集

邑楽町熟年力を活かす会では、緑寿式を開催します。また、実行委員も募集します。

【緑寿式】
▼**日時**　平成26年3月21日㈮・午前10時～
▼**会場**　邑楽町公民館
▼**対象**　町内在住で、昭和22年4月～昭和26年3月生まれの人
▼**参加費**　1,000円

【実行委員募集】
▼**応募資格**　緑寿式典対象者で、式典と邑楽町熟年力を活かす会に参加できる人
▼**募集人員**　若干名（男女を問いません）

【共通事項】
▼**応募締切**　12月21日㈯
▼**申込・問合先**　邑楽町熟年力を活かす会事務局（梅田）☎88－9431

○緑化講座 覚えておきたいカキの上手な育て方

▼**日時**　平成26年1月23日㈭午前10時～正午
▼**会場**　県緑化センター
▼**講師**　佐藤泰史先生（普及指導員）
▼**定員**　60人（先着順）
▼**申込方法**　電話で申し込む
▼**申込開始**　平成26年1月6日㈪午前8時30分
▼**申込・問合先**　県緑化センター ☎88－7188

わが家のアイドル

金井美香さん・優奈（ゆうな）ちゃん
（石打・20区）

優奈は、元気でおてんばな子です。NHK・Eテレの「いないいないばあ」に登場する、「ワンワン」が大のお気に入り。外でブランコに乗るのも大好きで毎日のように乗っては、はしゃいでいます。家では、テーブルにのぼって大きな声で喜んだり、パパと追いかけっこをしたりして、いつも元気いっぱいです。将来は、お友だちみんなと仲良くできる、思いやりのある子に育ってほしいです。

DREAM 若者紹介 夢

木村 翼さん　22歳
Tsubasa Kimura（石打・20区）

■現在何をしていますか？

現在、大学の英語コミュニケーション学科で、ビジネスの場で必要な実践的な英語力と、コミュニケーションの取り方などを専門に学んでいます。毎週日曜日には大好きなサッカーをして、心も体もリフレッシュさせています。最近手に入れた一眼レフカメラを片手に、普段気付かないような場所を、写真に撮ることも、今楽しんでいる趣味のひとつになっています。

■将来の夢はなんですか？

私は、アメリカに留学経験があります。大学2年生の20歳の頃、オレゴン州の大学で1年勉強していました。むこうでの生活は、とても充実していましたが、食べ物のカロリーが高く、10キロ太って日本に帰ってきました。将来の夢は、世界中を回ること。特にインドに行ってみたいですね。旅先での出会いや出来事など、一つひとつが刺激になり、新しい発見にもつながるからです。

文芸

俳句

台風一過割れゆく空に西日差す　福島　慶子
つかまらぬいなご追いかけはねる孫　石橋弥代江
体中秋のひろがる旅用意　宮尾　静子
秋天やアルプスを背に松本城　斉藤真紀子
残照や影のもつるる花芒　今井　里智
夕ぐれや土間跳ねまわるかまど虫　小林トヨ子
天高し屏風ヶ浦の幾万年　金子　典子
独酌の憂い盛る泡虫時雨　船生三江子
いわし雲一人の家を一人発つ　小嶋フジ子
風呂敷に包む乗飯友の来る　中繁貴美子
餅ついて夫の笑顔のすがすがし　大塚　初代
柿紅葉宿の器に敷かれおり　中谷　和子
秋風や道路工事の音運ぶ　大塚　久子
山の辛野の辛あふれ秋の市　早川　亨
来し方を問答しつつ秋遍路　金子　睦子
握り飯雲を肴に秋日かな　長谷川繁樹
秋署し昔にかえる同窓会　村上　文子
凪の海秋灯こぼし船の行く　安富　耕二
一匹の迷いカラスや秋日和　松崎ナミ子
金婚の帯に仕上げの秋扇　岡田　尚美
秋日和幼稚園児のはしゃぐ声　新井　政子
新築届く隣の主代替わり　青山　房江
老犬へ置いた座布団暮の秋　築地地秀男

短歌

当日券は一時間待ちのスカイツリー人はつくづく日本一が好き　山田　勝江
あちこちの金木犀のかぐわしき頸くらくらく夢うつつなり　曽我　公子
戻り夏体が馴れず悪鳴あげ秋が短くほら冬そこに　持田　静江
人の名を不意に忘るる寂しさを老令なると己れなぐさむ　沼田とし子
テレビでは草津の湯畑映りいて共に旅せる亡き友しのぶ　潮　とみ
信濃路にぴんころ地蔵に出会いたり同じ思いか詣うでる人ら　横山ヒサ江
大長茄子は三日採らずば杖のごと土にとどきて枝を支える　板橋　浩子
ぷるるんと携帯電話が鳴り響き主の行く手は固定電話へ　島田　初美
境内を歩む老夫の傍らで今を盛りと彼岸花咲く　橋本　俊幸
うす紅のコスモス愛でて母しのぶ彼岸に入りて墓前へ供える　茂木いく子
木犀の香る道の辺ポケットのラジオは報ず台風の接近　山崎　静子
震災の傷あとのこる青葉城伊達政宗の哀れかなしも　宮崎トヨ子
松林日傘まわして行く人の紺地の浴衣は母の面影　管谷千枝子

投稿大募集

①イラスト・絵手紙 ②4コマ漫画 ③詩・ポエム ④短歌・俳句 ⑤告知コーナー（イベント案内やメンバー募集など）
ご質問・ご意見は、はがき・電話・FAX・Eメールなど、どんな方法でも結構です。掲載者には粗品を進呈します。

●あて先　〒370-0692（住所は不要）邑楽町役場企画課広報広聴係
☎47-5007　FAX 89-0136　E-mail　koho@town.ora.gunma.jp
※誌上匿名はOKですが、記念品発送などに必要ですので、必ず実際の名前・住所・年齢・電話番号をお書き添えください。

広告

広告面

広告面

広告面

広告面

広告面

広告面

広告面

広告面

広告面

広告面

毎年、菊花展に向けて丹精込めて菊を育てている飯塚さん夫妻

これからも夫婦二人三脚 大輪の花を咲かせたい

飯塚春男さん **シナ子**さん
（秋妻・17区）

春男さん 1932 年生まれ。シナ子さん 1933 年生まれ。第 44 回大泉菊花大会では、大泉町長賞をシナ子さん、大泉教育長賞を春男さんが受賞。その他数々の菊花展で入選を果たしてきた。夫婦共通の趣味は、菊の栽培。

飯塚春男さん、シナ子さん夫婦が本格的に菊を育て始めたのは平成８年頃。それまで地区の老人会で菊を育てていましたが、大泉菊花会に入会し、菊の育て方を一から学び直したことがきっかけで、自宅で菊の栽培を始めました。その後、夫婦で数々の菊花展で入賞を果たしてきました。

「菊を育てるのは大変です。特に注意しなければならないのは害虫。アブラムシやダニを防ぐために、週一回は消毒。虫のついた菊は、出品できませんからね」と春男さん。

「新たに芽が出た菊をポットに移し替え、肥料を与えながら大切に育てていきます。来年の菊花展にむけて、もう準備しなくてはなりません」とシナ子さんは話します。

朝、目が覚めて、新聞を取りに行く前に、必ずする日課は菊の生育の確認。すくすく育っている様子を必ず見て回るそうです。

「菊のこととなると、夫婦で喧嘩（けんか）することもしょっちゅうあります。でも、長年連れ添った夫婦だから、すぐ仲直りします」と、結婚生活の年輪を重ねること56年目の夫婦は語ります。

シナ子さんは、過去に大病をわずらい、入退院を繰り返してきたそうです。今では元気になり、菊を育てるのが唯一の生きがいにつながっているといいます。

「体が丈夫なうちは、これからも二人で一緒に立派な菊の花を咲かせて、菊花展に出品していきたいですね」と二人は笑顔で語ります。菊の栽培を通した夫婦二人三脚の「生きがいづくり」は、これからも続いていくのです。

邑楽町民合唱団

邑楽町民合唱団は、歌うことが大好きなメンバーが集まって結成されたサークルです。メンバーは 60 ～ 70 歳代の女性 16 人。毎週水曜日の午後７時 30 分～９時まで、邑楽町公民館で活動しています。サークルでは和気あいあいとしたなか、みんな楽しく合唱しています。また、邑楽町公民館まつりや、邑楽町吹奏楽とコーラスの集いなどのステージで、歌声を披露することもあります。歌を歌うことはストレス発散にもなり、美しさを保つことにもつながります。現在メンバー募集中。音符の読めない人でも大丈夫。興味のある人はぜひ見学に来てみてください。私たちと一緒に楽しく合唱してみませんか。お問い合わせは、邑楽町公民館☎ 88-1290 へ。